

令和5年度(2023年度) 学校・教育機関における 個人情報漏えい事故の発生状況

— 調査報告書 — 第2版



令和5年度 事故発生件数・個人情報漏えい人数

- ◆ 令和5年度は、231件の個人情報の漏えい事故が発生。延べ141,467人の個人情報が漏えいしました。

事故発生件数

231件

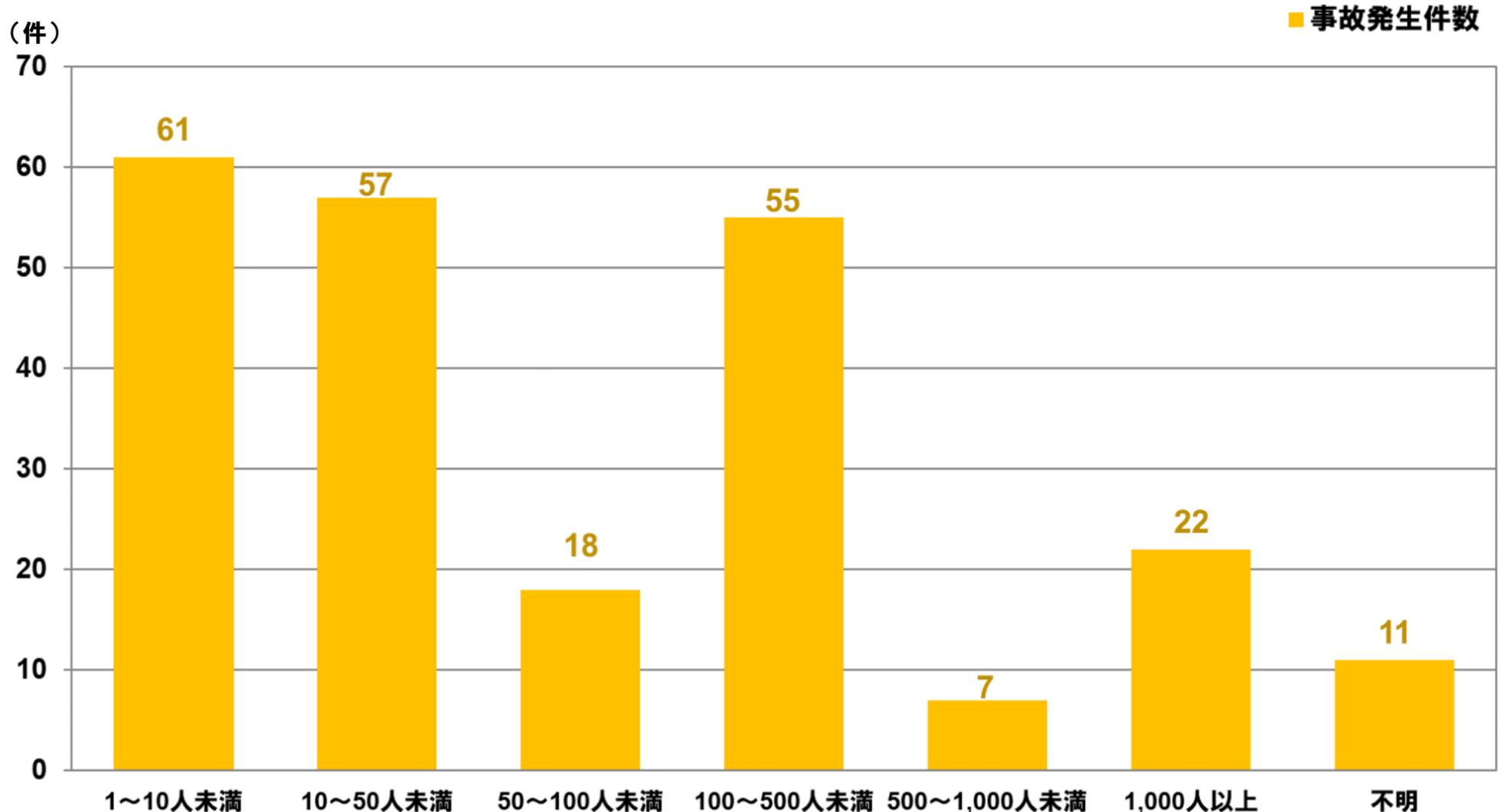
個人情報漏えい人数

141,467人

平均すると
事故1件あたり
約612人の
個人情報が漏えい

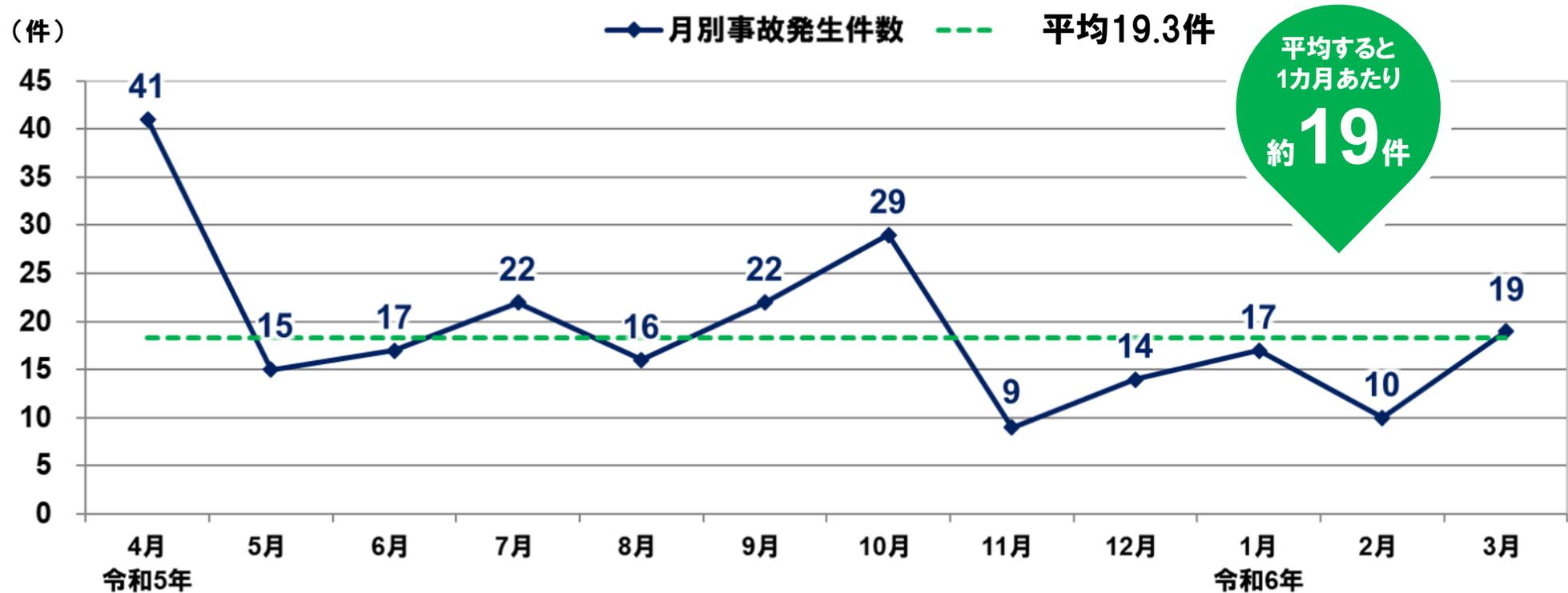
令和5年度 個人情報漏えい人数別 事故発生件数

- ◆ 1人の個人情報漏えい事故や、1,000人以上の個人情報漏えい事故など、さまざまな情報漏えい事故が発生しました。



令和5年度 月別 事故発生件数

- ◆ 令和5年度は、4月、10月に次いで、7月、9月に多く事故が発生しました。1年間で平均すると、1カ月あたり約19件の事故が発生しています。



主な学校行事

年度始め

学期末
成績処理

夏休み

学期末
(二学期制)

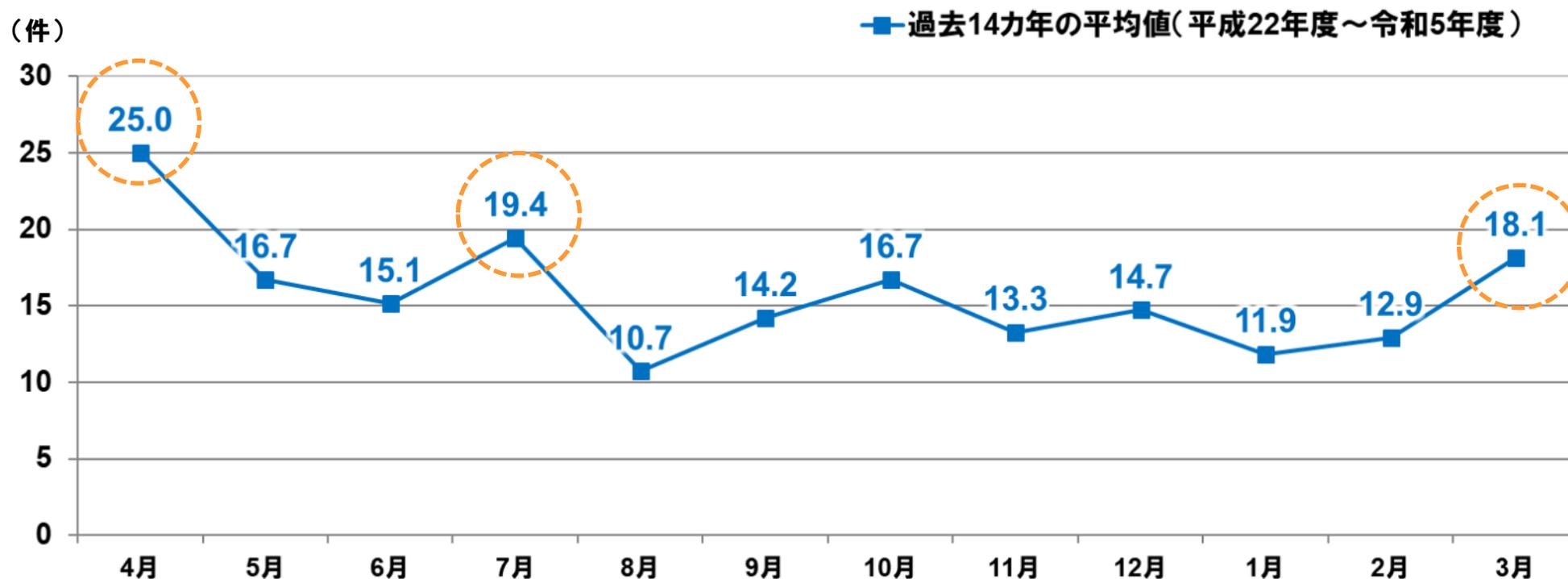
学期末
成績処理

入学試験

学期末
成績処理

月別 事故発生件数 過去14力年の平均値

◆ 4月(年度始め)や7月、3月(学期末・成績処理の時期)に事故が多く発生しました。



主な学校行事

年度始め

学期末
成績処理

夏休み

学期末
(二学期制)

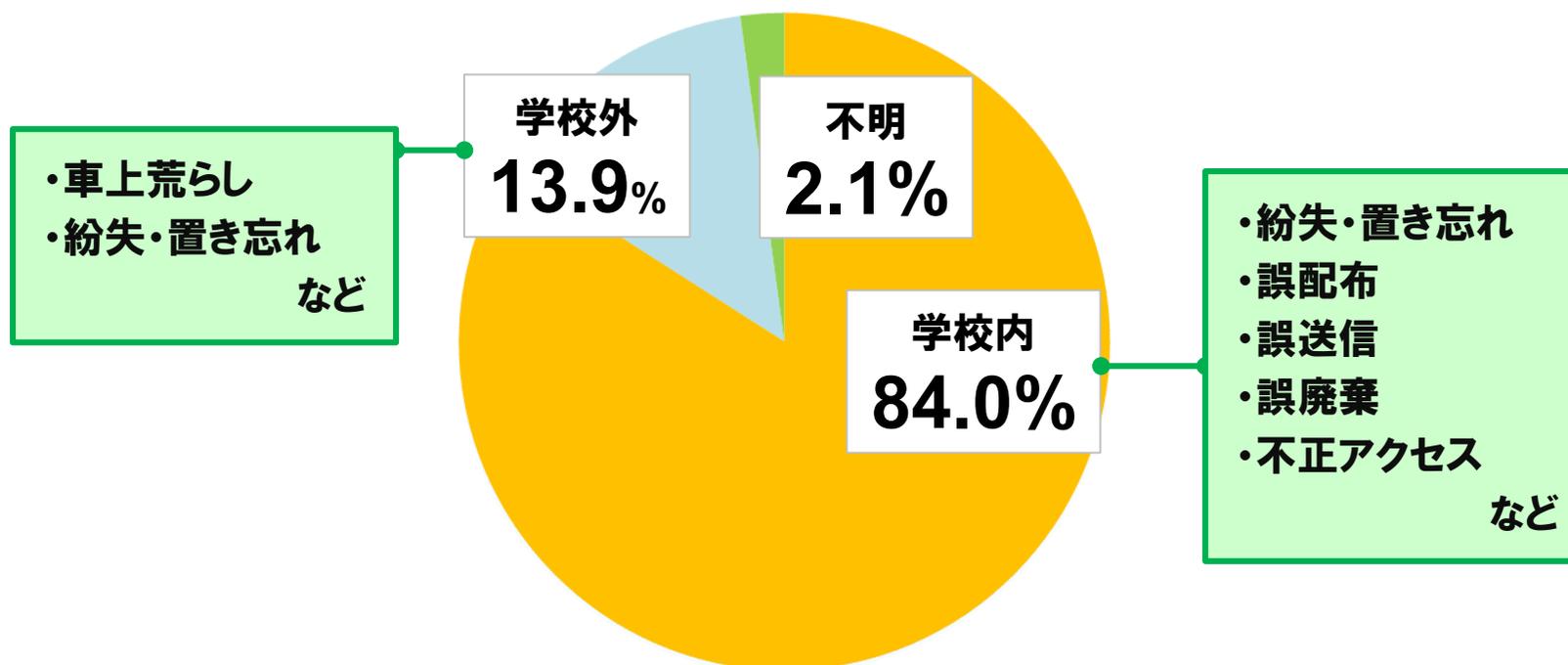
学期末
成績処理

入学試験

学期末
成績処理

令和5年度 発生場所別 事故発生比率

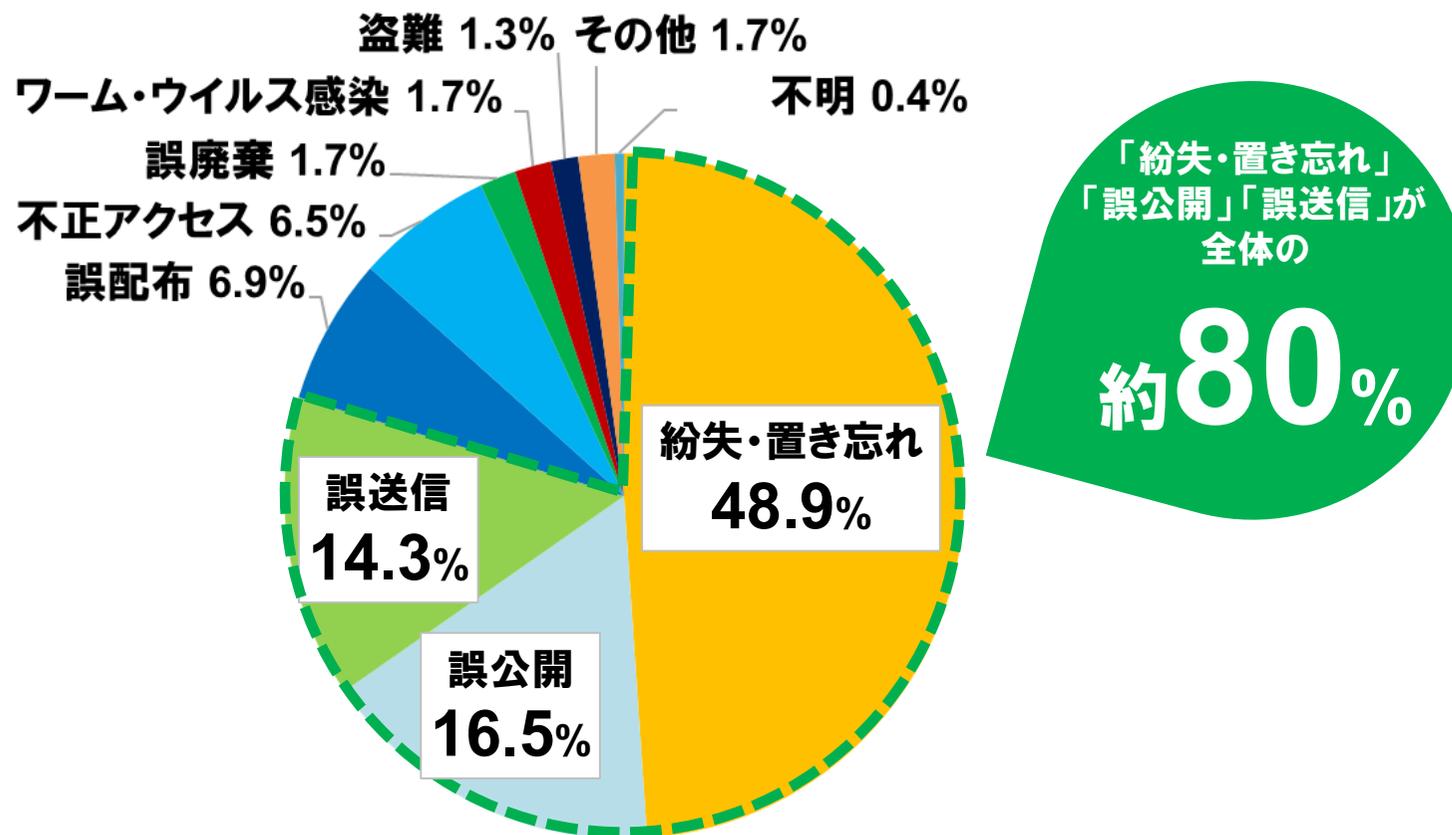
◆ 情報漏えい事故は、学校内でも学校外でも発生しています。



学校内と学校外、両方の対策を講じる必要があります。

令和5年度 種類別 事故発生比率

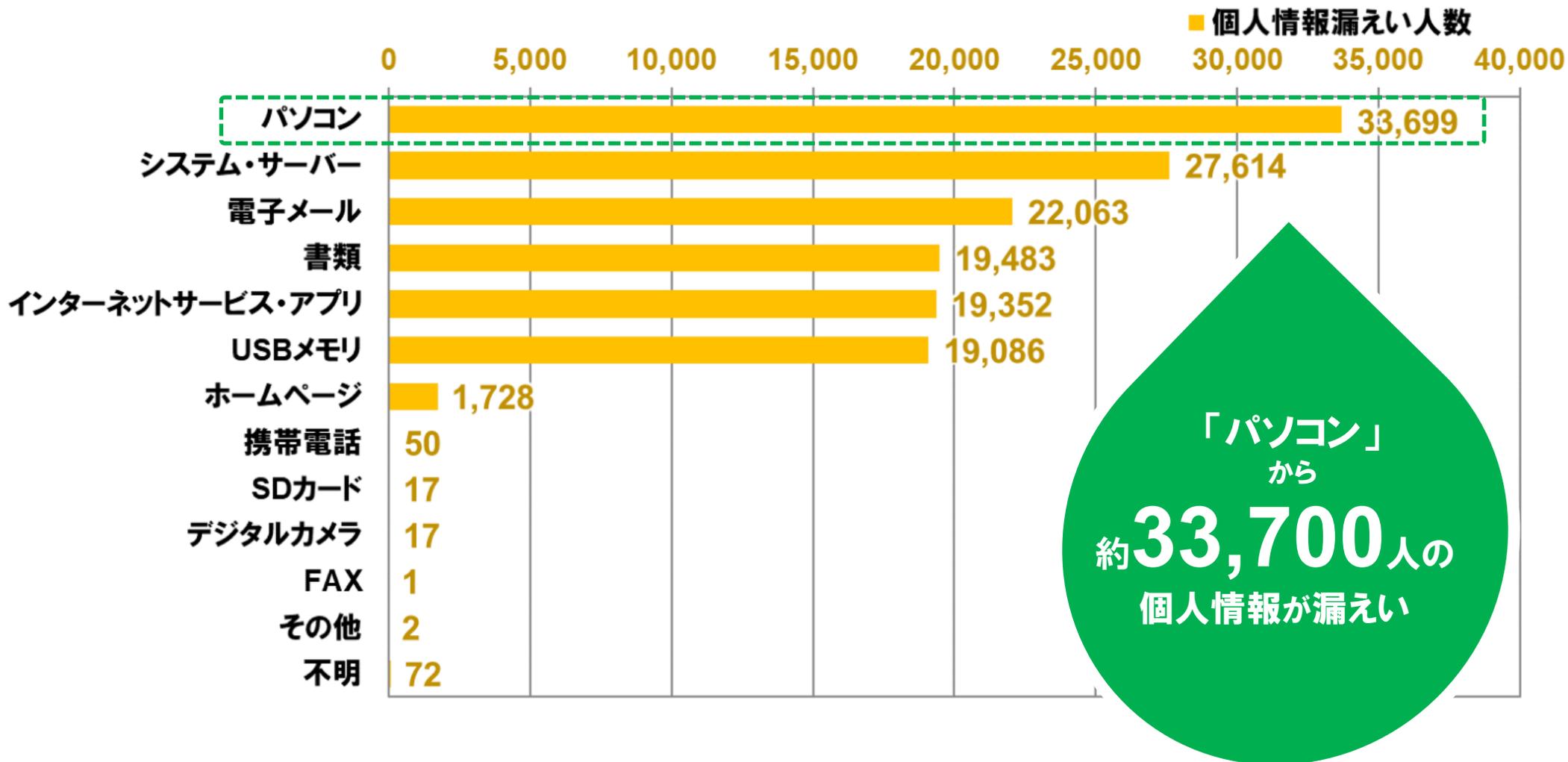
- ◆ 書類やUSBメモリ、パソコンなどの「紛失・置き忘れ」が最も多く、「誤公開」が2番目、「誤送信」が3番目に多く発生しました。



※事故の分類はP21に記載

令和5年度 漏えい経路・媒体別 個人情報漏えい人数

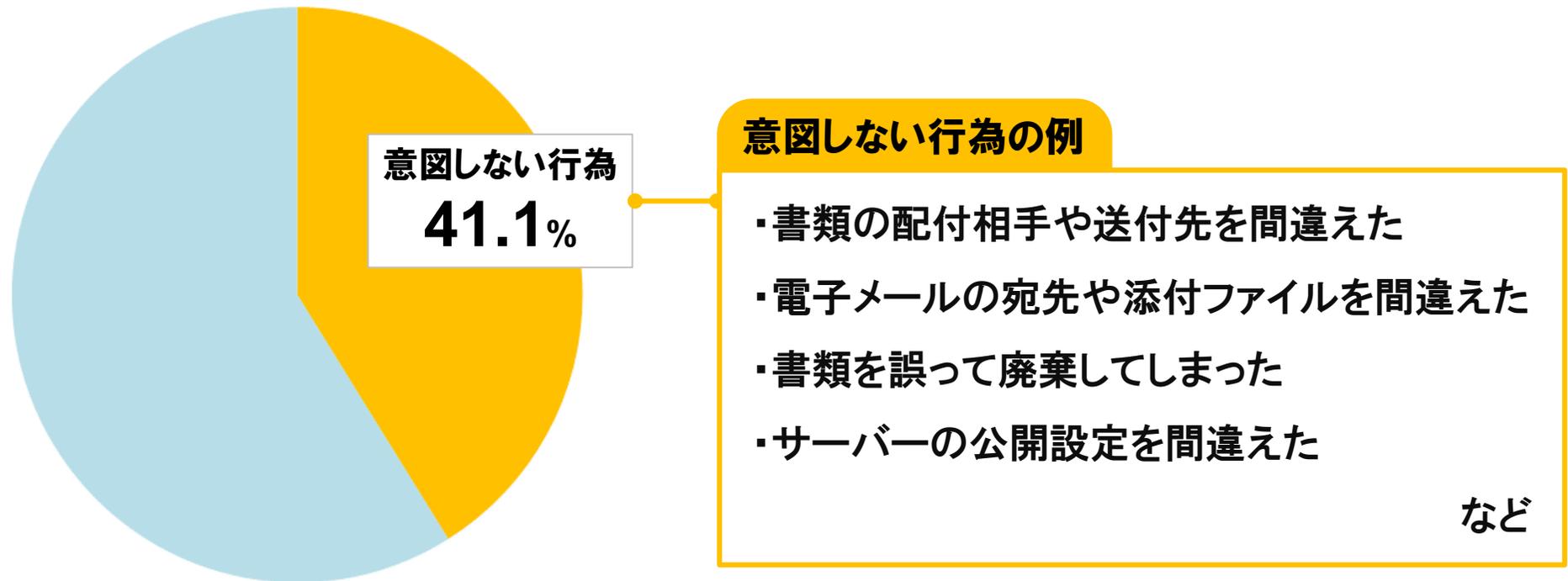
◆ 漏えい人数が最も多かった経路・媒体は、「パソコン」でした。



※1件の事故で複数の経路・媒体から漏えいした場合は、それぞれの経路・媒体に含まれていた個人情報漏えい人数を合算しています。

令和5年度 意図しない行為(行為ミス)による 事故の発生比率

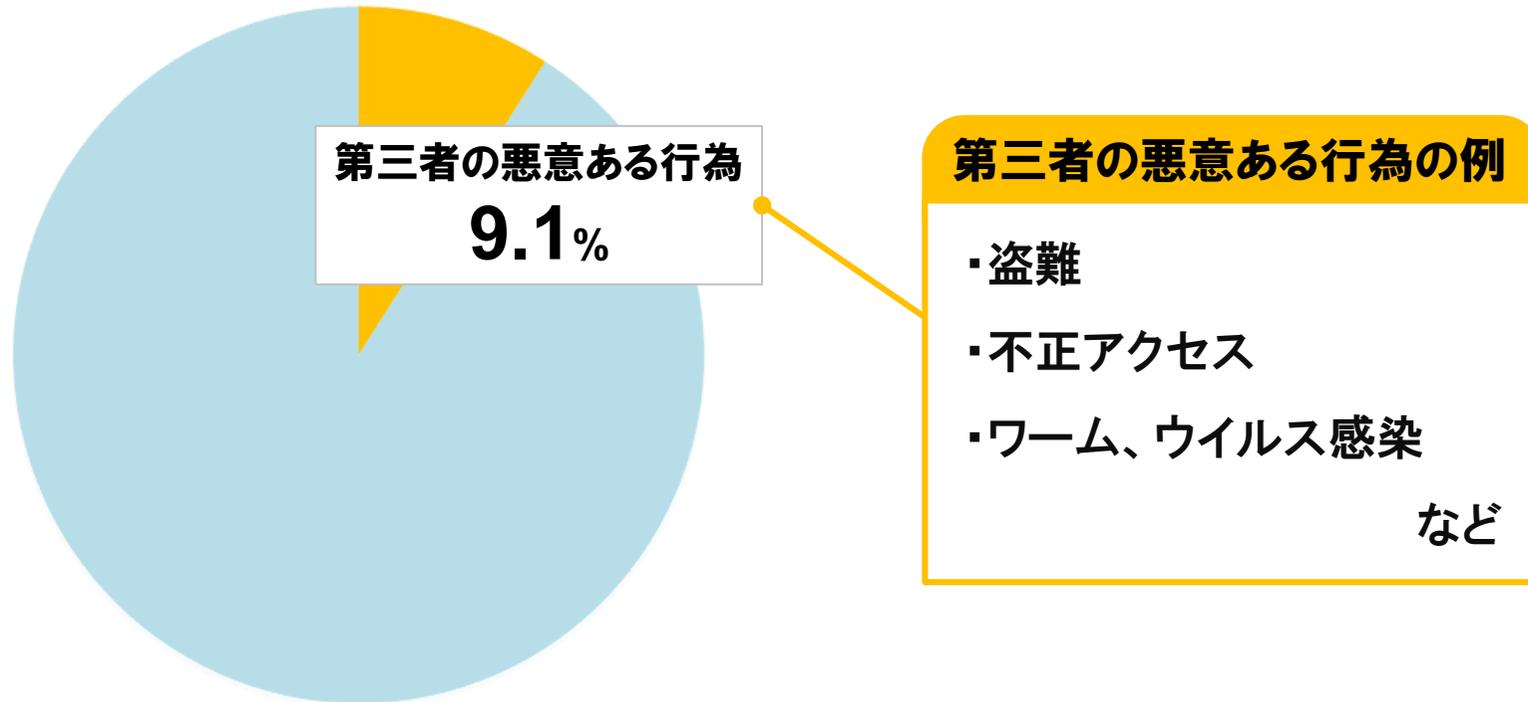
- ◆「過失行為」や「やり間違い」など、意図しない行為(行為ミス)を伴う事故が全体の約41%を占めました。



誤送信や誤配布、誤廃棄など、ケアレスミスによる事故を減らすための仕組みや工夫が必要です。

令和5年度 第三者の悪意ある行為による 事故の発生比率

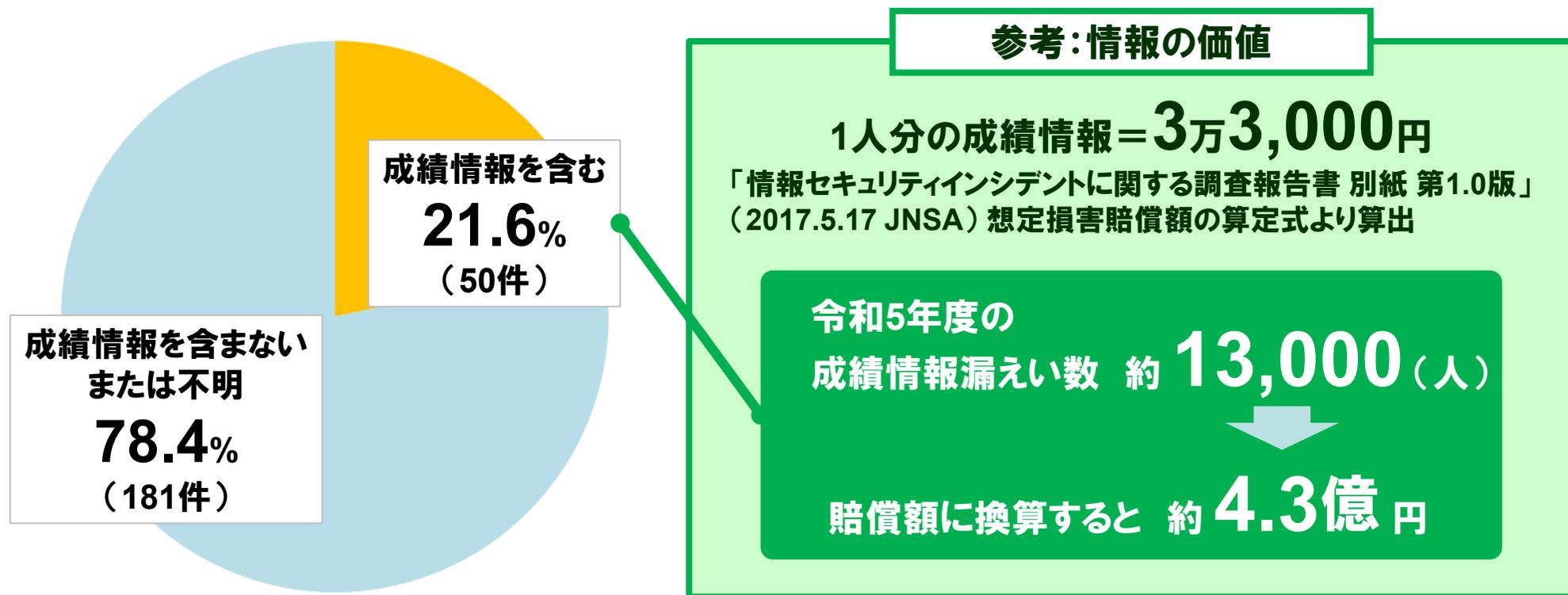
◆ 事故の約9%は、第三者の悪意ある行為によって起こりました。



盗難やサイバー攻撃など、外部からの脅威への対策が必要です。

令和5年度 成績情報が含まれていた事故の発生比率

◆ 事故の約22%は、漏えいした情報の中に「成績情報」が含まれていました。



成績の情報は非常にセンシティブな情報であり、漏えいが発生した場合に児童・生徒、保護者に与えてしまう影響は甚大なものとなります。
先生が校務作業で取り扱う機会も多いため、細心の注意を払う必要があります。

情報漏えい事故の発生状況 まとめ

- ◆ **年度始めの4月、行事が重なる10月に事故が多く発生しました。**
- ◆ **事故の種類は「紛失・置き忘れ」「誤公開」「誤送信」で、全体の約80%を占めました。**
- ◆ **漏えい経路・媒体の大半は「書類」「インターネットサービス・アプリ」で、全体の約70%を占めました。**
- ◆ **「規定違反」を伴う事故が、全体の約7%を占めました。**

事故が発生しやすい時期や媒体、原因を把握した上で、効果的な対策を取りましょう。